

10. 胃がんに対するESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）の実施件数

定義

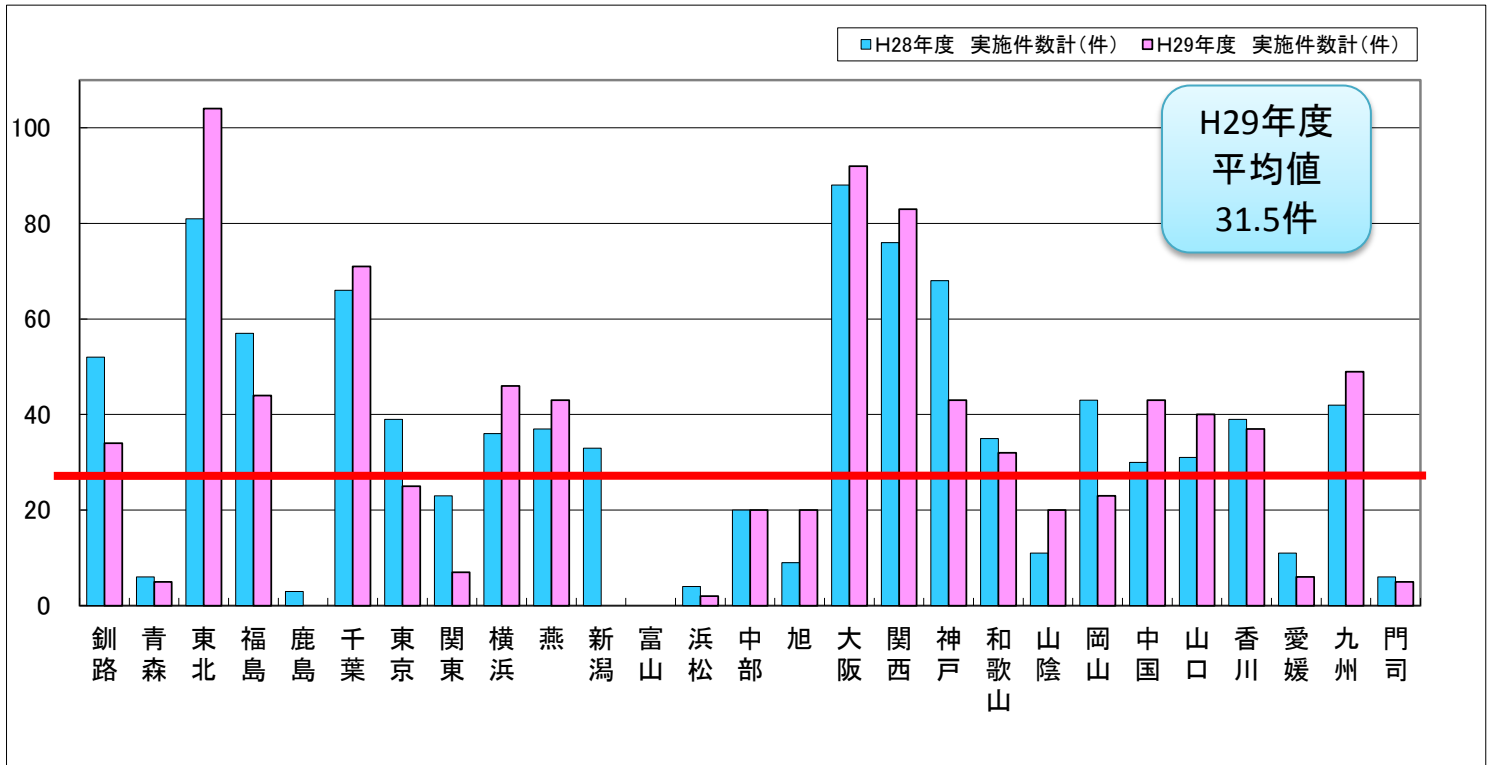
胃がん患者に対し、ESD（K653 内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 2 早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）を実施した件数

指標の解説

施設調査より抽出

ESDの有用性としては、開腹手術と比較し、入院期間の短縮、術後の疼痛軽減等が挙げられており、当該手術の実施件数により患者の負担軽減、社会復帰への貢献度を評価する。

10. 胃がんに対するESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）の実施件数



No	施設名	H28年度			H29年度		
		外来	入院	実施件数計(件)	外来	入院	実施件数計(件)
1	釧路	0	52	52	0	34	34
2	青森	0	6	6	0	5	5
3	東北	0	81	81	0	104	104
4	福島	0	57	57	0	44	44
5	鹿島	0	3	3	0	0	0
6	千葉	13	53	66	9	62	71
7	東京	0	39	39	0	25	25
8	関東	0	23	23	0	7	7
9	横浜	0	36	36	0	46	46
10	燕	0	37	37	0	43	43
11	新潟	0	33	33	0	0	0
12	富山	0	0	0	0	0	0
13	浜松	0	4	4	0	2	2
14	中部	0	20	20	12	8	20
15	旭	0	9	9	0	20	20
16	大阪	0	88	88	0	92	92
17	関西	0	76	76	0	83	83
18	神戸	0	68	68	0	43	43
19	和歌山	0	35	35	0	32	32
20	山陰	0	11	11	0	20	20
21	岡山	0	43	43	0	23	23
22	中国	0	30	30	0	43	43
23	山口	0	31	31	0	40	40
24	香川	0	39	39	0	37	37
25	愛媛	0	11	11	0	6	6
26	九州	0	42	42	0	49	49
27	門司	0	6	6	0	5	5
28	長崎	0	0	0	0	1	1
29	熊本	0	14	14	2	16	18
合計		13	947	960	23	890	913
平均	500床以上	0	54	54	2	57	59
	400床以上	0	36	36	0	34	34
	300床以上	1	28	29	1	25	26
	300床未満	0	14	14	0	11	11

※専門医不在の施設については除外した。